

取扱説明書

取扱説明書 もくじ

はじめに 1

1章 本製品の準備 5

- 1 使う前に確認する 5
- 2 各部の名称 - 外観図 - 6
- 3 キーボードドックを取り付ける／取りはずす 11


2章 インターネット／困ったときは 16

- 1 インターネットを使うには 16
- 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには
- ウイルス・インターネットセキュリティー 20
- 3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する 22
- 4 困ったときは - トラブルを解消するまでの流れ - 23
- 5 Q&A集 24
- 6 本製品の調子がおかしいときは 30
- 7 本製品を初期状態に戻す - リカバリー - 31
- 8 プレインストールのアプリケーションを再インストールする 39
- 9 捨てるとき／人に譲るとき 40
- 10 アプリケーションのお問い合わせ先 44
- 11 サービス&サポートのご案内 47
- 12 ご使用にあたってのお願い 55
- リカバリーチェックシート 60

詳しい使いかたは、『オンラインマニュアル』で説明しています。

本書では、本製品に用意されている機能の一部を簡単に説明しています。より詳しい説明や、本書で説明していない機能については『オンラインマニュアル』内の『活用編』で説明しています。『オンラインマニュアル』は、スタートメニューから次の手順で起動できます。



① スタートメニューの左上の  をタップ

* スタートメニューに表示されるアプリケーションは、モデルや使用状況によって異なります。

(表示例)

② [すべてのアプリ] → [オンラインマニュアル] をタップ

はじめに








このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。

本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っているると便利な内容を示します。
 役立つ操作集	知っているると役に立つ操作を示します。
 参照	参照先を示します。 <ul style="list-style-type: none">● 本書内への参照の場合…「 」● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『 』

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

3 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows または Windows 10

Windows 10 または Windows 10 Pro を示します。

MS-IME

Microsoft IME を示します。

Office 搭載モデル

Office Mobile、Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス、Office Personal Premium プラス Office 365 サービス、Office Home & Business 2013、Office Personal 2013 のいずれかをプレインストールしているモデルを示します。

Bluetooth 機能搭載モデル

Bluetooth 機能を搭載しているモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名、仕様については、『****（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは、マイクロソフト企業グループの商標です。その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 お願い

- 本体の内蔵フラッシュメモリにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows 標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体の内蔵フラッシュメモリにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態を使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。ウイルスチェックがまったく行われない状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック/セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- 内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化/消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録 (ユーザー登録) をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

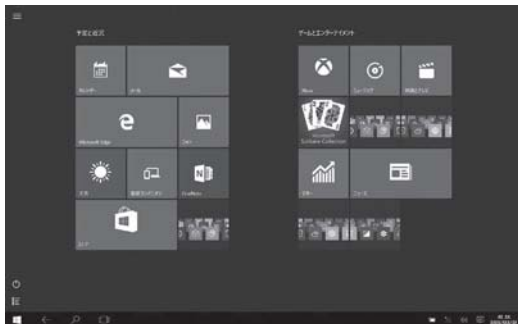
参照 ▶ お客様登録について『活用編 付録 **3** お客様登録の手続き』

6 本書の記載について

■ タブレットモードについて

Windows 10では、「タブレットモード」がONかOFFかによって、表示される画面や操作方法が異なります。

<タブレットモードが「ON」の場合>





(表示例)

<タブレットモードが「OFF」の場合>



(表示例)

● タブレットモードのON/OFFを切り替える

- ① 通知領域の  アイコンをタップする
[通知] 画面が表示されます。
- ② [タブレットモード] () をタップして、ON/OFFを切り替える
[タブレットモード] をタップするたびに、ON/OFFが切り替わります。
ONになると、アイコンに色が付き、アクティブな状態になります。
OFFになると、アイコンがグレー表示されます。

■ 本書では

- ・「タブレットモード」をONに設定して操作する手順を説明しています。
- ・画面に指でタッチして操作する手順を説明しています。

1

使う前に確認する

1章

本製品の準備

1 箱を開けたらまずはこれから

■ 箱の中身の確認

『****（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照▶ 東芝PCあんしんサポートについて「2章 11 サービス&サポートのご案内」

■ 型番と製造番号を確認

型番と製造番号は本体に記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照▶ 記載位置について「本章 2 各部の名称」

2 忘れずに行ってください

■ はじめに

ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書とWindowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

■ 保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無料修理サービスが受けられます。

保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

Model Name	Serial Number	Date of Purchase

■ 海外保証を受けるには

海外で使用するときには「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。

利用方法、保証の詳細は、「2章 11 サービス&サポートのご案内」の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

2

各部の名称 ー外観図ー

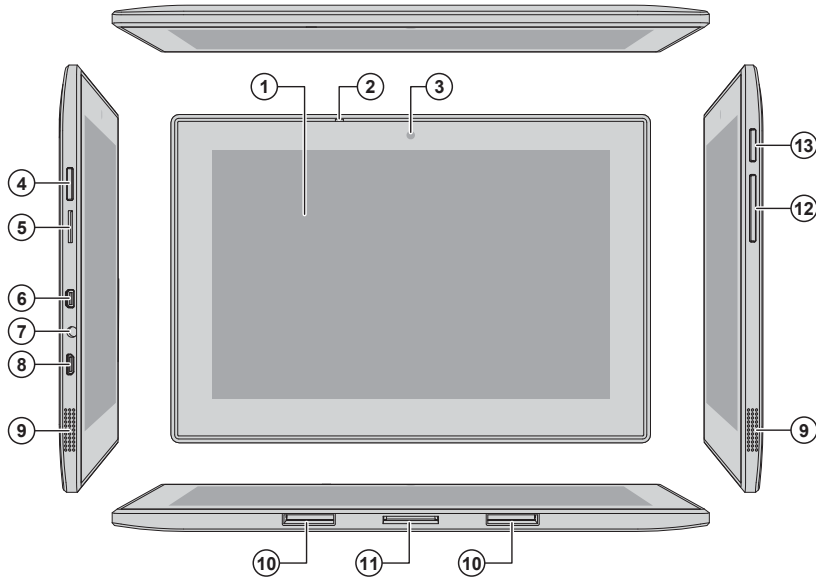
1章

お願い 外観図について

- 本製品に表示されているコネクタ／スイッチのマーク（アイコン）などは最大構成を想定しています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。

本製品の準備

1 前面図



① ディスプレイ（画面）

② マイク（モノラル）

③ Webカメラ

写真や動画を撮影するためのものです。

④ Windows ボタン

画面を切り替えます。

⑤ microSD カードスロット

microSD メモリカードをセットします。

⑥ HDMI HDMI (micro) 出力端子

HDMI (micro) ケーブルを接続して、HDMI 入力対応機器（テレビ、外部ディスプレイなど）に本製品の映像を表示します。

⑦ ヘッドセット/ヘッドホン端子

ヘッドセットやヘッドホンを接続します。

⑧ microUSB コネクタ

充電時に使用します。

また、USB 対応機器を接続できます。USB 2.0 規格に対応しています。

⑨ スピーカー

⑩ ドッキングガイド

⑪ ドッキングポート

キーボードドックを接続できます。

参照 「本章 3 キーボードドックを取り付ける／取りはずす」

⑫ 音量ボタン

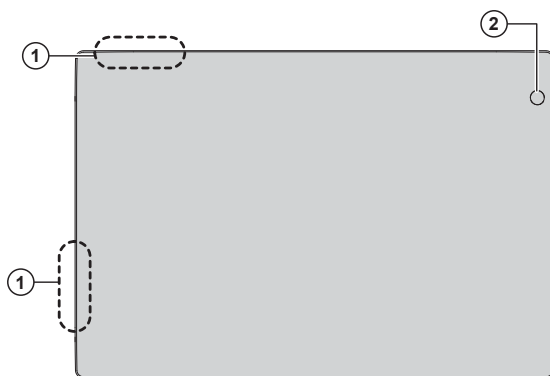
（音量大（+）、音量小（-）ボタン）

⑬ 電源スイッチ

2 背面図

1 章

本製品の準備



① この部分に無線通信用のアンテナが内蔵されています。

② Webカメラ

※ バッテリーパックは本製品に内蔵されています。

⚠ 危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する
お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。
寿命などで交換する場合のお問い合わせ先は、「2章 11 サービス&サポートのご案内」を確認してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

お願い

■ 本製品のメモリについて

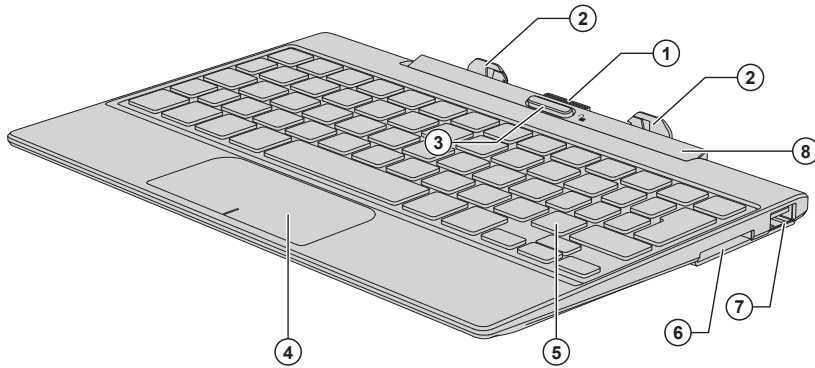
- 本製品はメモリの増設はできません。

■ 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「2章 12 - 1 本体について」

3 キーボードドック前面図 (右側)



① ドッキングコネクタ



② ガイドピン

③ リリースボタン

④ クリックパッド (タッチパッド)、左ボタン、右ボタン

参照 ▶ 『活用編 6章 1 クリックパッド』

⑤ キーボード

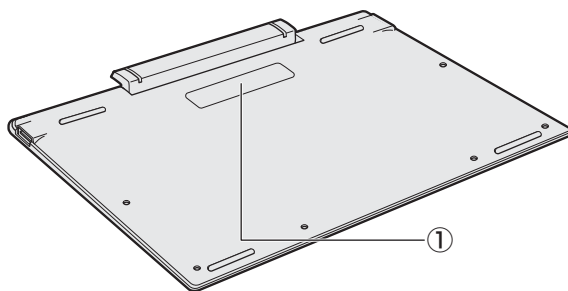
⑥  SDメモ리카ードスロット
SDメモ리카ードなどをセットします。⑦  USBコネクタ
USB対応機器を接続します。
USB2.0規格に対応しています。

⑧ ヒンジ

4 キーボードドック裏面図

1章

本製品の準備



① 型番、製造番号、PCリサイクルマーク

※ キーボードドックには、セカンド バッテリーが内蔵されています。

⚠ 危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する
お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。
寿命などで交換する場合のお問い合わせ先は、「2章 11 サービス&サポートのご案内」
を確認してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

お願い

■ 外観について

- 裏面には、正規のWindowsであることを証明する、「Windows」というMicrosoft®のラベルが貼ってあります。はがしたり汚したりしないでください。
* Windows 10 Proの場合のみ

■ 機器への強い衝撃や外圧について


- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ 「12 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」

タブレットにキーボードドックを取り付けて使用するときの注意や、キーボードドックの取り付け／取りはずし方法について説明します。

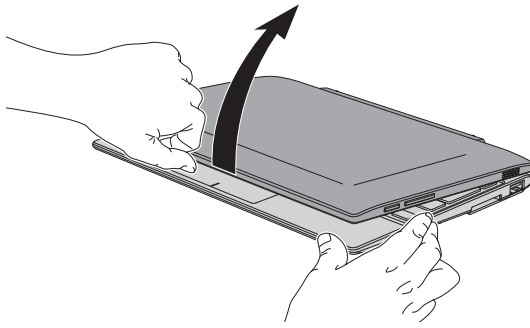
1 キーボードドックを取り付けて使用するときの注意

⚠ 注意

- 本製品の表面や底面に長時間触れない
機器の表面や底面は熱くなります。
低温やけどを避けるため、長時間ひざの上など直接肌に触れた状態で使用しないでください。
 - 本製品を持って振り回さない
ディスプレイが手前に閉じたり、指をはさんでけがをするおそれがあります。
 - タブレットにキーボードドックを接続した状態でディスプレイ（タブレット部分）を閉じたり開いたりするときは、タブレットからケーブル類を抜く
本体やACアダプター、ケーブル、コネクタ類を傷つけるおそれがあります。
- USB コネクタに接続するとパソコン本体が浮き上がるような分厚いUSB対応機器の場合は注意して使用してください。パソコン本体のUSBコネクタに力が加わり破損するおそれがあります。
 - キーボードドックを取り付けた状態で持ち運ぶときはキーボードドックが確実に装着されていることを確認してください。
また、図のようにキーボードドック部分を持たないでください。本製品が破損するおそれがあります。移動するときはディスプレイ（タブレット部分）を閉じて持ってください。
- 
- ディスプレイ（タブレット部分）はゆっくり閉じてください。強く閉じると、ディスプレイ（タブレット部分）の画面に傷がついたり、液晶パネルが故障するおそれがあります。

3 キーボードドックを取り付ける／取りはずす

- ディスプレイ（タブレット部分）を開閉するときは、傷や汚れがつくのを防ぐために、液晶ディスプレイ（画面）部分には触れないようにしてください。



片手でパームレスト（キーボード手前部分）をおさえた状態で、ゆっくり起こしてください。

1章

本製品の準備

お願い ディスプレイを開けるときは

- ディスプレイを開きすぎるとヒンジに力がかかり、破損や故障の原因となります。ヒンジに無理な力が加わらないよう開閉角度に注意してご使用ください。

参照 ▶ ヒンジの位置「本章 **2** - **3** キーボードドック前面図（右側）」

お願い ご使用場所に関する注意

- ディスプレイ（タブレット部分）を開くと、ヒンジを支点にしてキーボードドック部分が持ち上がります。
柔らかい材質の机や床の上など、擦れやへこみで傷つきやすい場所では本製品を使用しないでください。

2 タブレットにキーボードドックを取り付ける

注意

- タブレットを接続していない状態で、キーボードドックのヒンジを操作しない
ヒンジが破損するおそれがあります。
- タブレットをキーボードドックに接続するときに指をはさまないようにする
けがをするおそれがあります。
- タブレットをキーボードドックに接続するときは、タブレットからケーブル類を抜く
本体やACアダプター、ケーブル、コネクタ類を傷つけるおそれがあります。
- タブレットにキーボードドックを接続した状態でパームレスト部だけを持って持ち上げない
破損や故障のおそれがあります。
- タブレットにキーボードドックを接続した状態でディスプレイ（タブレット部分）を閉じ
る場合は、指や物をはさまないようにする
けがや破損、故障のおそれがあります。
- キーボードドックのリリースボタンを押しながら、タブレットを取りはずす
リリースボタンを押さないでタブレットを取りはずすと、破損や故障のおそれがあります。
- タブレットにキーボードドックを接続した状態で画面をタッチするときは、強く押さない
画面を強くタッチすると、パソコン本体が倒れるおそれがあり、けがや故障の原因とな
ります。
- キーボードドックのコネクタ部分に触れない
けがや破損のおそれがあります。

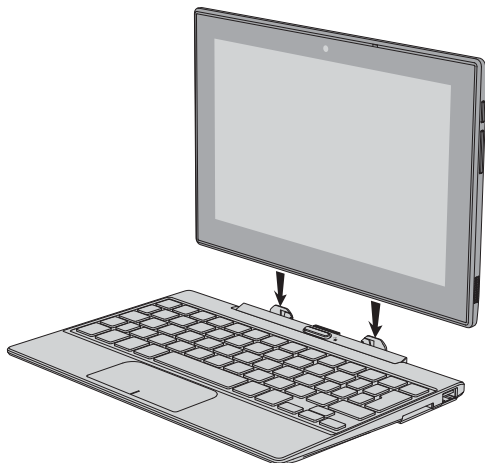
次の手順でタブレットにキーボードドックを取り付けてください。

1 タブレットから電源コード、周辺機器、ケーブル類を取りはずす

参照 機器の取りはずし『活用編 4章 周辺機器を使って機能を上げよう』

2 使用しているアプリケーションを終了し、タブレットの電源を切る

3 タブレットのドッキングガイドをキーボードドックのガイドピンに合わせてゆっくり矢印の方向に差し込む



お願い 再起動について

- タブレットをキーボードドックに初めて接続した場合は、接続した状態で一度再起動してください。

3 タブレットからキーボードドックを取りはずす

タブレットをキーボードドックから取りはずすときには、使用しているアプリケーションなどのプログラムをすべて終了させてください。

お願い 取りはずす前に

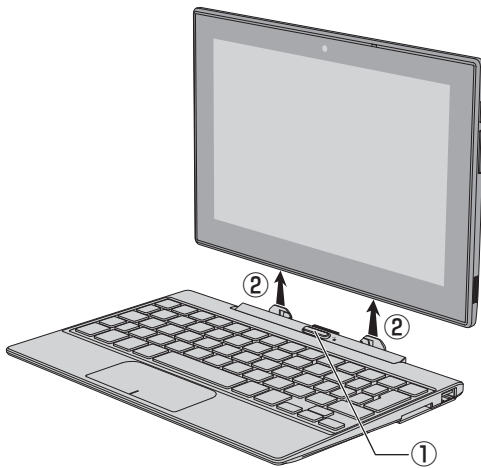
- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失する可能性があります。
- タブレットのバッテリー充電量が10%以下の場合、キーボードドックからタブレットを取りはずさないでください。
保存されていないデータは消失する可能性があります。

1 データを保存し、使用しているアプリケーションを終了させる

2 リリースボタンを押しながら①、タブレットを持ち上げる②



キーボードドックが置いてある面から約90°の角度で、タブレットを持ち上げてください。



1 インターネットを使うには

インターネットを使うには、次のような流れで準備してください。

2章

インターネット／困ったときは

プロバイダーに加入する

プロバイダーとはインターネット接続の窓口となる会社のことです。会社によって使用料金やサービス内容が異なります。使用できるまでに数日かかる場合があります。

インターネットに接続するための回線機器と、本製品を接続する

インターネットへの接続方法によって接続する機器は異なります。

参照▶ 無線LANで接続する

「本節 **1** 無線LANで接続する」、
『活用編 3章 **2** 無線LANを使う』

ウイルスチェックソフトの利用を開始する

インターネットやメールに添付されたファイルなどでコンピューターウイルスに感染する場合があります。感染すると、本製品が使用できなくなることがありますので、あらかじめウイルスチェックソフトの設定をしてください。

参照▶ ウイルスチェックソフトについて「本章 **2** ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

インターネットの設定をする

インターネットの設定をするときは、プロバイダーとの契約時に送られてきた資料などを参照してください。

ウイルスチェックソフトのパターンファイルを更新する

ウイルス定義ファイル（パターンファイル）を最新のものに更新してください。

参照▶ ウイルスチェックソフトのヘルプ

メールの設定をする

メールを使う場合は、メールソフトの設定が必要です。

参照▶ 「本節 **2** メールを使用するために」

『メールソフトに付属している説明書』、メールソフトのヘルプ

設定完了



- 本製品に用意されているウイルスチェックソフトの設定をする前に、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。日付と時刻が合っていないと、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。

参照 日付と時刻の設定について
『活用編 9章 3 - 2 - Q 内蔵時計が合っていない』

1 無線LANで接続する

警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る
本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - ・ 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。
 - ① 通知領域の アイコンをタップする
 - ② [機内モード] をタップして、ONに切り替える
ONになると、通知領域に アイコンが表示されます。
 - ・ スリープや休止状態では、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - ・ 電源を切った状態でも、本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い

- あらかじめ、次の説明を確認してください。
 - 参照** 「2章 12 - 6 無線LANについて」
- 『活用編 付録 2 デイリーケアとアフターケア』に、セキュリティに関する注意事項や使用上の注意事項を説明しています。
無線LANを使用する場合は、記述を読んで、セキュリティの設定を行ってください。

1 通知領域の  アイコンをタップする

2 [Wi-Fi] をタップして、ONに切り替える

参照▶ 以降の無線LANの設定『活用編 3章 2 - 2 無線LANを設定する』

2
章

インターネット／困ったときは


2 メールを使用するために

メールを使用するには、メールソフトでの設定が必要です。


メールソフトには、Windowsのメール機能や、「Outlook 2013」*¹ などがあります。

* 1 Outlook 2013搭載モデルのみ

● Windowsのメール機能の起動方法


- ① スタートメニューの左上の  をタップする
- ② [すべてのアプリ] → [メール] をタップする

Windowsのメール機能を使用するには、Microsoft アカウントが必要です。

Microsoft アカウントについては、タスクバーの [検索] ボタン () で、「Microsoft アカウント」と入力して検索してください。


● 「Outlook 2013」の起動方法


「Outlook 2013」を使用するにはライセンス認証が必要です。

- ① 初めて「Office」を起動する場合は、スタートメニューの左上の  をタップ→ [すべてのアプリ] → [Microsoft Office] をタップする
以降は、画面の指示に従ってください。

ライセンス認証にはプロダクトキーが必要です。

プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。

- ② スタートメニューの左上の  をタップ→ [すべてのアプリ] → [Microsoft Office 2013] → [Outlook 2013] をタップする
初めて「Outlook 2013」を起動したときは、「Outlook 2013へようこそ」という画面が表示されます。必要に応じて、設定を行ってください。

「Outlook 2013」の使いかたについては、起動後 [Microsoft Outlookヘルプ] ボタン () をタップして表示されるヘルプを参照してください。

メモ

- メールの送受信を行う前にウイルスチェックソフトを設定することをおすすめします。

参照 → ウイルスチェックソフトについて「本章 **2** ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

本製品に用意されているウイルス・インターネットセキュリティ用のアプリケーションを紹介します。

お願い 使用するにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ 「本章 12 - 4 ウイルスチェック・セキュリティ対策について」

1 コンピューターウイルス対策

コンピューターウイルスの感染や不正アクセスから本製品を保護するため、初めてインターネットに接続したりメールを送受信する前に、ウイルスチェック機能があるソフトをインストールしてください。インストール後も、普段から定期的にコンピューターウイルスの検出を行うようにしてください。

本製品には、「ウイルスバスター」が用意されています。ウイルスの発見や駆除、個人情報保護やネットワークセキュリティ対策ができるアプリケーションです。

参照▶ ウイルスバスターについて「本節 3 ウイルスバスターによるウイルス対策」

2 インターネットをより安全に楽しむために

インターネットを利用すると、いろいろな情報を見ることができて大変便利です。しかしその反面、インターネット上には次のような有害なものが存在します。

・コンピューターウイルス

本製品に侵入し、本製品内に保存してあるデータを破壊するなどの悪さを行います。

・スパイウェア

本製品に侵入し、本製品内の情報（氏名やパスワード、ホームページの閲覧履歴など）を第三者に流出します。

・有害サイト

お子様に適さないサイトや、ウイルスに感染しているサイトなど、ユーザーに悪影響を与えるおそれがあるサイトです。

ウイルスチェックソフト、スパイウェア対策ソフト、有害サイト閲覧制限ソフトを上手に使って、快適にインターネットを楽しみましょう。



メモ

- 本製品にはユーザーの年齢やホームページのカテゴリによって表示するサイトを制限できる「i-フィルター6.0」が用意されています。

参照▶ 「i-フィルター6.0」について「本章 3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する」

3 ウイルスバスターによるウイルス対策

本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、90日間の使用期限がある体験版です。使用するには、インストールする必要があります。

メモ

- Windows セットアップで「使用許諾契約に同意しウイルスバスターの利用を開始します。」をチェックしている場合、自動的に「ウイルスバスター」がインストールされ、メールアドレスの入力画面が表示されます。メールアドレスをすでに持っている場合は入力し、[完了] ボタンをタップしてください。メールアドレスは登録しなくても使用できます。



「ウイルスバスター」には、次のような機能があります。

- コンピューターウイルスを検出/除去する
- フィッシング詐欺への対策をする
- 迷惑メールや詐欺メールを判定して処理する
- スパイウェアを検出して処理する
- 有害サイトへのアクセスを制限する
- 個人情報の漏えいを防止する など

詳しくは、ヘルプを確認してください。自動的にインストールされない場合は、『活用編 7章 **1** ウイルスバスターを使う』を参照してインストールしてください。

ヘルプの起動

ヘルプを見るためには、インターネットに接続する必要があります。

- 1 スタートメニューの左上の  をタップする
- 2 [すべてのアプリ] → [ウイルスバスター クラウド] → [ウイルスバスターの表示] をタップする
- 3 [ウイルスバスター クラウド] 画面で [ヘルプ] ボタン ( ヘルプ) をタップする



(表示例)

[ヘルプとサポート] 画面が表示されます。

参照 「ウイルスバスター」のお問い合わせ先「2章 **10** アプリケーションのお問い合わせ先」

3

有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する

インターネットに接続すると、世界中のいろいろなホームページを見ることができます。ニュースを読む、買い物をする、調べ物をするなど便利な使いかたもできますが、なかには有害なホームページもあります。

有害なホームページへのアクセスを遮断する「i-フィルター6.0」を使用することをおすすめします。

2章

インターネット／困ったときは

1 i-フィルター6.0

本製品には、フィルタリング機能をもつアプリケーションとして「i-フィルター6.0」が用意されています。「i-フィルター6.0」は、ユーザーの年齢やホームページのカテゴリによってアクセスを制限し、有害なホームページは表示しないように設定することができます。

お願い 使用期限について

- 無料使用期間はご使用開始より90日間です。無料使用期間が過ぎますと、設定がすべて解除されフィルタリング機能がご使用できなくなります。無料使用期間中に有料にて正規サービスをお申し込みいただくことで、継続して使用することができます。


「i-フィルター6.0」の使いかたについては、『活用編 7章 **2** i-フィルター6.0を使う』をご確認ください。

STEP1 本書の「Q&A集」から探す

本書の「Q&A集」に同じトラブルのQ&Aがないか、確認してみてください。

STEP2 『オンラインマニュアル』から探す

『オンラインマニュアル』内の『活用編』でも、本書の「Q&A集」では紹介していない、さまざまなQ&Aについても説明しています。

スタートメニューの左上の  をタップし、[すべてのアプリ] → [オンラインマニュアル] をタップして起動してください。

STEP3 サポートのサイトで調べる * インターネットに接続している場合

- 「dynabook.com」 (<http://dynabook.com/>)
東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」では、お問い合わせの多い質問や最新のQ&Aが掲載されています。
- 「あなたのdynabook.com」
「dynabook.com」の「サポート情報」にある「あなたのdynabook.com」には、ご利用の本製品の「よくある質問 FAQ」、デバイスドライバーや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などが掲載されています。

STEP4 それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる

- 本体のトラブルの場合
東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。
- OSやアプリケーションのトラブルの場合
OSや各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。
参照 ▶ お問い合わせ先『活用編 付録 1 お問い合わせ先』
- 周辺機器のトラブルの場合
参照 ▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

ここに掲載のQ&A集のほかに、『活用編 9章 本製品の動作がおかしいときは』にもQ&A集があります。目的の項目がないときは『オンラインマニュアル』内の『活用編』も参照してください。

1 電源

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、電源が入らない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。
確実に電源スイッチを押してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう。または電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。
本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

A 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

本製品本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるまで待ってください。

A 本製品からいったん、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを取りはずす
本製品に接続している周辺機器も取りはずしてください。
そのままの状態、しばらく放置してください。
- ② 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
- ③ 電源スイッチを押し、指をはなす
確実に電源スイッチを押してください。


参照 ▶ 『スタートアップガイド』

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブを内蔵フラッシュメモリ以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

次のように操作してください。

- ① システムが入っている記録メディアと取り換える、または記録メディアを取り出す
- ② Windows ボタン () を押す、またはキーボードドックを接続して何かキーを押す
それでも正常に起動しない場合は、以下の操作を行ってください。
- ① 電源スイッチを10秒以上長押しして電源を切る
- ② 音量大 (+) ボタンを押しながら、電源スイッチを押し続ける
[Boot Menu] 画面が表示されます。
- ③ 起動したいドライブをタップする

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるのを待ってください。

それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。

(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

Q しばらく操作しないと、電源が切れる

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A 自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間本製品を使用しないと、自動的にスリープになるように設定されています。

復帰させるには、電源スイッチを短く押してください。

2 画面／表示**Q** 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

A 電源スイッチを10秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 **3** - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っています。電源スイッチを短く押すと表示が復帰します。

Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、本製品をスリープや休止状態から復帰したとき、本体ディスプレイに何も表示されない

A テレビまたは外部ディスプレイに、画面表示が切り替わっている可能性があります。

テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れて確認してください。本製品の画面が表示されていた場合は、『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』を参照して、本体ディスプレイに表示を切り替えてください。


Q テレビまたは外部ディスプレイを取りはずしたときに、画面が表示されなくなった**A** テレビまたは外部ディスプレイを接続してください。

テレビまたは外部ディスプレイをメインディスプレイに指定して拡張表示の設定をした場合、スリープや休止状態のときにテレビまたは外部ディスプレイを取りはずすと、スリープや休止状態から復帰したときに画面が表示されないことがあります。

テレビまたは外部ディスプレイの取りはずしは、スリープや休止状態のときに行わないでください。

Q 画面が薄暗く、よく見えない**A** 本体ディスプレイ（画面）を明るくしてください*¹。

次の手順で本体ディスプレイの輝度を調整することができます。*¹

- ① 通知領域の  アイコンをタップする
- ② [すべての設定] をタップする
- ③ [システム] → [ディスプレイ] → [明るさのレベル] のバーで輝度を調整する
画面の輝度を確認しながら、つまみを左右にドラッグして調整してください。




*¹ この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

A 本体ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。

「電源オプション」には、本体ディスプレイの輝度を落として消費電力を節約する機能があります。この機能で画面の明るさレベルを下げると、画面が暗くなります。

詳しくは、「電源オプション」のヘルプを参照してください。

次の手順で設定を変更してください。*¹

- ① スタートメニューの左上の  をタップする
- ② [すべてのアプリ] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] をタップする
- ③ [ システムとセキュリティ] → [ 電源オプション] をタップする
- ④ [プラン設定の変更] をタップする
- ⑤ [プランの明るさを調整] を設定する
[バッテリー駆動] と [電源に接続] をそれぞれ設定してください。
- ⑥ [変更の保存] ボタンをタップする

*¹ この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

Q 画面表示が回転してしまった**A** 本製品を持ち上げて、表示したい方向に傾けて調節してください。

画面表示の向きは、ディスプレイの向きに合わせて自動的に回転する設定になっています。画面表示が回転しないように設定することもできます。

参照 『活用編 2章 4 - 2 画面の向きを設定する』

3 システム／内蔵フラッシュメモリ

Q 本製品が応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、本製品を再起動してください。

参照 ▶ 再起動『活用編 2章 1 - 4 再起動』

A Windows 起動時に問題が起きた場合や、本製品を再起動できない場合は、電源スイッチを10秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。アプリケーションをアンインストールしてください。

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションを本製品にインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 ▶ 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属している説明書』

4 タッチパネル

Q 電源を入れたあと、タッチパネルが反応しない

A タッチパネルに触れたまま電源を入れると、タッチパネルが一時的に反応しない場合があります。

タッチパネルに触れないで、しばらく待ってからお使いください。

Q 画面にタッチしても反応しない

A システムが処理中の可能性があります。

システム処理中は、操作を受け付けない場合があります。操作によっては、システム処理中はポインターが輪の形(○)になっています。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A つめの先では操作できません。

指で操作してください。

A 手袋を着けたままでは操作できません。

手袋をはずして操作してください。

A 指が汗や水でぬれている状態では操作できません。

水分をふき取ってから操作してください。

A 保護フィルムの種類や貼りかたによっては、タッチ操作が正しく認識されないことがあります。


保護フィルムのご使用をおやめください。

5 メッセージ

Q 起動時に「*** RTC battery is low **** Press ENTER to set Date/Time.」
または「**** Date and Time reset to default **** Press [Enter] to
set Date and Time」と表示され、Windowsが起動しない

A バッテリーの充電量が不足しています。

電源コードとACアダプターを接続後、次の手順でBIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

- ① [Enter] をタップする、Windows ボタン () を押す、またはキーボードドックを接続して何かキーを押す
BIOSセットアップ画面が表示されます。
- ② [System Time] の時刻表示部分をタップして選択後、再度タップする
時刻設定画面が表示されます。
- ③ 時間、分、秒を、それぞれ [+] [-] をタップして設定し、[OK] ボタンをタップする
- ④ [System Date] の日付表示部分をタップして選択後、再度タップする
日付設定画面が表示されます。
- ⑤ 月、日、年を、それぞれ [+] [-] をタップして設定し、[OK] ボタンをタップする
- ⑥ [Save and Exit] をタップする
確認のメッセージが表示されます。
- ⑦ [Yes] をタップする
設定内容が有効になり、BIOSセットアップが終了します。
本製品が再起動します。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。


Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照▶ 日付と時刻の設定について『活用編 9章 3 - 2 - Q 内蔵時計が合っていない』

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing Press any key to restart」

A 次のように操作してください。

- ① USB フラッシュメモリなどの起動ディスクを取り出す
- ② Windows ボタン () を押す、またはキーボードドックを接続して何かキーを押す
上記の操作を行っても解決しない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A 『使用しているシステムやアプリケーションに付属している説明書』を確認してください。

6 その他

Q キーボードが使用できないときに、**CTRL** + **ALT** + **DEL** キーと同様の動作を行いたい

A Windows ボタンと電源スイッチを同時に押してください。

参照 ▶ Windows ボタンの位置「1章 **2** - **1** 前面図」

Q 内蔵フラッシュメモリから本製品を初期状態に戻せなくなったときは

A 内蔵フラッシュメモリに搭載されている初期状態に戻すためのツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。

また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、本製品を初期状態に戻せなくなることがあります。

リカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

参照 ▶ リカバリーの操作方法「本章 **7** - **5** リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

参照 ▶ 修理のお問い合わせについて「本章 **11** サービス&サポートのご案内」

Q 異常なおいや過熱に気づいた！

A 本製品、周辺機器の電源を切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してから東芝PCあんしんサポートに相談してください。なお、お問い合わせの際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照 ▶ 修理のお問い合わせについて「本章 **11** サービス&サポートのご案内」

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A 「トラブルを解消するまでの流れ」のSTEP2へ進んでください。

本書の「トラブルを解消するまでの流れ」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照 ▶ 「本章 **4** 困ったときは」

A 本体のトラブルの場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A OS やアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 ▶ OS やアプリケーションのお問い合わせ先『活用編 付録 **1** お問い合わせ先』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 ▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

本製品の動作がおかしいと感じたときは、次の方法を実行してください。

次の方法を実行してみる

■ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。

参照▶ ウイルスチェックソフト「本章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

■ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

購入後に追加で増設した機器が原因の可能性があるので、それらを取りはずしてから、再起動してください。また、電源関連のトラブルの場合は、本製品の電源を切り、電源コードとACアダプターをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してください。

参照▶ 機器の取りはずし『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

■ ほかのトラブル解消方法を探す

『活用編 9章 本製品の動作がおかしいときは』を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。

メモ

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、アプリケーションやドライバーを再インストールできる場合があります。

参照▶ 「本章 8 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

それでも改善しない場合

本製品を初期状態に戻す（リカバリー）

個人データ、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などすべてを消去して、本製品を初期状態に戻します。大切なデータは、あらかじめバックアップしてください。

参照▶ 「本章 7 本製品を初期状態に戻す」
巻末の「リカバリーチェックシート」

本製品を初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。内蔵フラッシュメモリ内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- 本製品の動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- 内蔵フラッシュメモリにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*¹
- 本製品の調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

*¹ ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、本製品の電源を切ることができません。

リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、注意してください。

1 本製品を初期状態に戻す（リカバリー）流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

初期状態に戻す前に行う

バックアップをとる など 参照▶「本節 2 本製品を初期状態に戻す前にしておくこと」

初期状態に戻す（画面の指示に従い、Windows セットアップまで行います）

初期状態に戻す

参照▶「本節 3 いくつかある初期状態に戻す方法」
「本節 4 内蔵フラッシュメモリから本製品を初期状態に戻す」
「本節 5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す」

Windows のセットアップ

参照▶『活用編 9 章 4 初期状態に戻した（リカバリー）あとの Windows セットアップ』

初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

周辺機器の接続

参照▶『活用編 4 章 周辺機器を使って機能を広げよう』
『各機器に付属している説明書』

ウイルスチェックソフトの
利用の開始

参照▶「2 章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

インターネットの設定

参照▶『活用編 3 章 インターネットやネットワークに接続する』

ウイルスチェックソフトの
パターンファイルの更新

参照▶ ウイルスチェックソフトのヘルプ

Windows Update

参照▶『活用編 1 章 使いはじめる前に』

東芝サービスステーションで
ソフトウェアのアップデート

参照▶『活用編 1 章 使いはじめる前に』

メールの設定

参照▶「2 章 1 - 2 メールを使用するために」

アプリケーションの
インストールと設定

参照▶『アプリケーションに付属している説明書』

データの復元

参照▶「本節 6 - 1 バックアップしておいたデータを復元する」

2 本製品を初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 『取扱説明書』（本書）
- 巻末の「リカバリーチェックシート」をコピーしたもの

あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合は、次のものも準備してください。

- リカバリーメディア
- キーボードドック

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、内蔵フラッシュメモリに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（microSDメモリカードなど）にバックアップをとってください。

- [ドキュメント]（または [マイ ドキュメント]）、[ピクチャー]（または [マイ ピクチャー]）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- インターネットの [お気に入り] のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

ただし、内蔵フラッシュメモリをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、内蔵フラッシュメモリに保存されていたデータは復元できません。

お願い バックアップをとるにあたって

- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。リカバリーをする前にユーザー名を控えてください。

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（microSDメモリカードなど）が、お手元にあることを確認してください。また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Office搭載モデルの場合は、リカバリーしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。ライセンス認証の際に必要なプロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージをご確認ください。

参照 『活用編 はじめに - 11 「Office」のライセンス認証について』

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。ONになっていない場合は、ONに設定してください。

参照 『活用編 3章 2 無線LANを使う』

周辺機器を取りはずす

プリンターなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、本製品の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

3 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- 内蔵フラッシュメモリからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常は内蔵フラッシュメモリからリカバリーをしてください。

リカバリーメディアからのリカバリーは、内蔵フラッシュメモリのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、内蔵フラッシュメモリからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る』



4 内蔵フラッシュメモリから本製品を初期状態に戻す

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

お願い

- バッテリーの消耗などによってリカバリーに失敗するおそれがありますので、あらかじめバッテリーの充電を完了（フル充電）してください。


メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをタップし、[PCの電源を切る] ボタンをタップしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをタップしてください。

① 電源コードとACアダプターを接続し、バッテリーをフル充電の状態にする

参照▶ 詳細について『活用編 5章 ① - ② バッテリーを充電する』

② データを保存し、次の方法で電源を切る

1. 通知領域の  アイコンをタップする
2. [すべての設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
[オプションの選択] 画面が表示されます。

③ [トラブルシューティング] をタップする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

④ [このPCを初期状態に戻す] をタップする

[このPCを初期状態に戻す] 画面が表示されます。

⑤ [すべて削除する] をタップする

本製品が再起動されます。

再起動後、[このPCを初期状態に戻す] 画面が表示された場合は、[Windowsがインストールされているドライブのみ] をタップしてください。

⑥ [ファイルの削除のみ行う] をタップする

⑦ [初期状態に戻す] ボタンをタップする

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

また、この間は絶対に電源を切らないでください。

⑧ セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照▶ Windows セットアップ

『活用編 9章 ④ 初期状態に戻した（リカバリー）あとのWindowsセットアップ』

5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す

あらかじめキーボードドックを接続し、次の手順でリカバリーを行います。

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。



リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る』

お願い

- バッテリーの消耗などによってリカバリーに失敗するおそれがありますので、あらかじめバッテリーの充電を完了（フル充電）してください。


メモ

- リカバリーメディア以外の記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをタップし、[PCの電源を切る] ボタンをタップしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをタップしてください。

① 電源コードとACアダプターを接続し、バッテリーをフル充電の状態にする

参照 ▶ 詳細について『活用編 5章 1 - 2 バッテリーを充電する』

② データを保存し、次の方法で電源を切る

1. 通知領域の  アイコンをタップする
2. [すべての設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
5. [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする

③ キーボードドックのUSBコネクタにリカバリーメディア（USBフラッシュメモリ）を接続する

④ 音量大（+）ボタンを押しながら、電源スイッチを押し続ける

[Boot Menu] 画面が表示されます。

⑤ USBフラッシュメモリを示す項目（[USB] など）をタップする

[言語の選択] 画面が表示されます。

⑥ [日本語（日本）] をタップする

[キーボードレイアウトの選択] 画面が表示されます。

⑦ [Microsoft IME] をタップする

[オプションの選択] 画面が表示されます。

⑧ [トラブルシューティング] をタップする

- ⑨ **【このPCを初期状態に戻す】をタップする**
【このPCを初期状態に戻す】画面が表示されます。
- ⑩ **【個人用ファイルを保持する】をタップする**

 **メモ**

- 【すべて削除する】を選択してもリカバリーは行えますが、5時間程度かかる場合があります。また、ドライブ内のデータはすべて消去されます。このため、通常は【ファイルの削除のみ行う】を選択することをおすすめします。

- ⑪ **【Windows 10】をタップする**
- ⑫ **【初期状態に戻す】ボタンをタップする**
画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。
- ⑬ **セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う**
参照 ▶ Windows セットアップ『スタートアップガイド』

6 本製品を初期状態に戻したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェックソフトの設定や更新を行ってください。

インターネットの設定は、プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で控えておいた設定情報を元に、行ってください。

その他必要に応じて、メールの再設定、購入後に追加したアプリケーションのインストール、データの復元などを行ってください。

参照 ▶ 詳細について「本節 **1** 本製品を初期状態に戻す (リカバリー) 流れ」

メモ

- Office 搭載モデルの場合、リカバリー後、「Office」のライセンス認証が必要になります。
- 購入後にインストールした一部のアプリケーションやドライバーは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

1 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。


アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。詳しくは、アプリケーションのヘルプを参照してください。

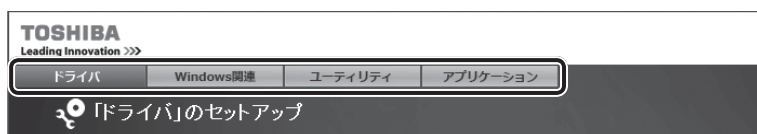
本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。

アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

1 操作手順

- ① スタートメニューの左上の  をタップする
- ② [すべてのアプリ] → [アプリケーションの再インストール] をタップする
- ③ [セットアップ画面へ] をタップする
アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。
- ④ タブをタップして、再インストールしたいアプリケーションを探す



(表示例)

画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。アプリケーションをタップすると、画面右側に説明が表示されますので、よくお読みください。

- ⑤ 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の [[XXX] のセットアップ] をタップする
「XXX」にはアプリケーション名が入ります。
選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の、下線が引かれている言葉をタップしてください。
- ⑥ 表示されるメッセージに従ってインストールを行う
「XXXXXX (ファイル名) をXXXXXXから開きますか？」というメッセージが表示された場合は、[開く] ボタンをタップしてください。

メモ

- [アプリケーションの再インストール] にないアプリケーションは、「Windowsストア」からダウンロードできる場合があります。

本製品を捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、内蔵フラッシュメモリの内容を消去してください。

1 使用済みの本製品を廃棄する場合

【個人・家庭で本製品をご使用のお客様へ】

■PCリサイクルマークがある場合

「PCリサイクルマーク」のある製品は、東芝での回収・再資源化のためのリサイクル料金が含まれています。廃棄するときは、東芝dynabookリサイクルセンタへお申し込みください。

参照▶ PCリサイクルのご相談（個人）「本章 **11** サービス&サポートのご案内」

■PCリサイクルマークがない場合

「PCリサイクルマーク」のない製品は、PCリサイクル対象に該当しません。お客様がお住まいの各自治体の処理に従い、適切に廃棄をお願いします。なお、自治体によっては、廃棄費用をご負担いただく場合があります。

参照▶ PCリサイクルマーク「1章 **2** 各部の名称」

【企業で本製品をご使用のお客様へ】

参照▶ PCリサイクルのご相談（企業）「本章 **11** サービス&サポートのご案内」

2 お客様登録の削除について

● ホームページから削除する

東芝ID (TID) をお持ちの場合はこちらからお願いします。

- ① インターネットで「<http://toshibadirect.jp/room1048/>」へ接続する
- ② ページ右の「[ログイン]」をタップする
「[ログイン]」画面が表示されます。
- ③ 「[東芝ID (TID)]」と「[パスワード]」に入力し、「[ログイン]」ボタンをタップする
マイページが表示されます。
- ④ ページ右下の「[退会]」をタップする

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※ Room1048を退会されますと、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● 電話で削除する

「東芝ID事務局 (お客様情報変更)」までご連絡ください。

- 東芝ID事務局 (お客様情報変更)

TEL : 0570-09-1048 (ナビダイヤル)

受付時間 : 10:00～17:00 (土・日、祝日、東芝特別休日を除く)

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。

参照▶ 技術的なご相談や修理に関するお問い合わせ「本章 **11** サービス&サポートのご案内」

3 内蔵フラッシュメモリの内容をすべて消去する

本製品の内蔵フラッシュメモリ上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、本製品を廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、内蔵フラッシュメモリに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

内蔵フラッシュメモリの内容を削除するには、内蔵フラッシュメモリの消去機能、または作成したリカバリーメディアを使用します。

お願い 本製品を譲渡する場合には

- 内蔵フラッシュメモリの内容を削除すると、内蔵フラッシュメモリ内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステム（OS）やアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 リカバリーメディアの作成『活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る』

お願い


- バッテリーの消耗などによって消去に失敗するおそれがありますので、あらかじめバッテリーの充電を完了（フル充電）してください。

■ 内蔵フラッシュメモリの消去機能から行う方法

① 電源コードとACアダプターを接続し、バッテリーをフル充電の状態にする

参照 詳細について『活用編 5章 1 - 2 バッテリーを充電する』

② データを保存し、次の方法で電源を切る

1. 通知領域の  アイコンをタップする
2. [すべての設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動する] をタップする
[オプションの選択] 画面が表示されます。

③ [トラブルシューティング] をタップする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

④ [TOSHIBA Maintenance Utility] をタップする

消去方法を選択する画面が表示されます。

⑤ 目的に合わせて、[標準データの消去] または [機密データの消去] をチェックし、[次へ] ボタンをタップする

通常は [標準データの消去] を選択してください。データを読み取れなくなります。

より確実にデータを消去するためには、[機密データの消去] を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。

[データの消去を開始します。] 画面が表示されます。

処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをタップしてください。

⑥ [次へ] ボタンをタップする

警告画面が表示されます。

画面の内容を確認の上 [[はい] をタップすると、消去が実行されます。

画面は、処理の経過に従い切り替わります。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。



⑦ [終了] ボタンをタップする

■ リカバリーメディアから行う方法

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『活用編 1章 4 リカバリーメディアを作る』

 メモ

- リカバリーメディア以外の記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをタップし、[PCの電源を切る] ボタンをタップしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをタップしてください。

① [本章 7 - 5] リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す」の手順①～⑨を実行する

② [すべて削除する] をタップする

③ [Windows 10] をタップする

[このPCを初期状態に戻す] 画面が表示されます。

④ [すべてのドライブ] をタップする

⑤ [ファイルの削除のみ行う] をタップする

⑥ [初期状態に戻す] ボタンをタップする

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

また、この間は絶対に電源を切らないでください。

本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は次のとおりです。

* 2015年7月現在の内容です。

各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

本書に記載している以外のアプリケーションのお問い合わせ先については、『活用編 付録 1 お問い合わせ先』を参照してください。

用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

■ Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス

■ Office Personal Premium プラス Office 365 サービス

上記 Office 製品を初めてご利用する際、インターネット接続環境および Microsoft アカウントでのサインインが必要になります。

Office 製品についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

事情により、電話番号や受付時間などが変更になる場合があります。事前に下記サポート Web サイトもご覧ください。

マイクロソフト Answer Desk 窓口

フリーダイヤル : 0120-54-2244

受付時間 : 月曜～金曜 9:00～18:00、土曜～日曜 10:00～17:00
(祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除く)
(日曜日はインストール サポートのみ)

サポート有効期間 : サポートライフサイクル期間内

※ サポートライフサイクルについては、

<http://support.microsoft.com/lifecycle/search/> をご確認ください。

<サポート Web サイト>

Office 製品に関する情報やお問い合わせ情報などにつきましては、下記 Web サイトもご確認ください。

下記アドレスをワン ボックス (アドレスバー) に直接入力いただければ、Web サイトにアクセスできます。

● Office 製品情報 :

製品の機能や使い方などの製品情報
office.microsoft.com

● Microsoft アカウントについて :

Microsoft アカウントの登録方法や便利な使い方などについては下記のサイトをご覧ください。
microsoft.com/ja-jp/msaccount

● Office 365 サービス :

Office 365 サービスの詳細や更新の方法は下記のサイトをご覧ください。
office.com/service

●マイ アカウント ページ：

Office 365 サービスの管理や再インストールは、初回のインストール時に作成したマイ アカウント ページから行うことができます。マイ アカウント ページにアクセスするには、インストールの際に使用した Microsoft アカウントが必要になります。

office.com/myaccount

●サポート情報：

製品に関するお問い合わせやサポート情報については、下記のサイトをご確認ください。

office.com/jppipcsupport

.....

■Excel 2013/OneNote 2013/Outlook 2013/PowerPoint 2013/
Word 2013

マイクロソフト Answer Desk 窓口

Office 製品についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

事情により、電話番号や受付時間などが変更になる場合があります。事前に下記サポート Web サイトもご覧ください。

●基本操作に関するお問い合わせ

<メール サポート>

以下の Web サイトにアクセスし、ご質問または問題に関連する製品を選択してください。

ホームページ : <http://support.microsoft.com/oas/>

受付時間 : 24時間いつでも受け付けています。

<電話サポート>

フリーダイヤル : 0120-54-2244

受付時間 : 月曜～金曜 9:00～18:00、土曜～日曜 10:00～17:00
(祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除く)
(日曜日はインストール サポートのみ)

●サポート有効期間：サポートライフサイクル期間内

※ サポートライフサイクルについては、

<http://support.microsoft.com/lifecycle/search/> をご確認ください。

●ホームページ : <http://support.microsoft.com/select/>

ホームページ : <http://support.microsoft.com/select/>

お問い合わせに関する詳細は、本体に同梱されている冊子『Office お使いになる前に』をご覧ください。

.....

■ Word Mobile/Excel Mobile/PowerPoint Mobile

マイクロソフト Answer Desk 窓口

フリーダイヤル : 0120-54-2244
受付時間 : 月曜～金曜 9:00～18:00、土曜～日曜 10:00～17:00
(祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除く)
※インストール サポートのみ。
※お問い合わせの際には、Microsoft アカウントをお手
元にご用意ください。

<サポートWebサイト>

- Office Mobileのご利用方法 : <http://www.office.com/jppipcsetup/>
- Microsoft アカウントについて : <https://www.microsoft.com/ja-jp/msaccount/>

.....

■ ウィルスバスター クラウド™ 90日版

ウィルスバスターサービスセンター

受付時間 : 9:30～17:30
TEL : 0570-008326
03-6738-6062 (IP電話・光電話からのお問い合わせ)
E-mail : <http://tmqa.jp/r924/>
ホームページ : <http://tmqa.jp/toshiba/>

.....

■ 筆ぐるめ for TOSHIBA

筆ぐるめ インフォメーションセンター

受付時間 : 9:30～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝祭日・休業日を除く)
11月1日から12月30日までは無休
(受付時間9:30～17:00 12/30のみ12:00まで)
TEL : 0570-550-211 (ナビダイヤル)
03-5638-6139 (PHS、IP電話ご使用の場合)
E-mail : users@fsi.co.jp
ホームページ : <http://fudegurume.jp/>


11

サービス&サポートのご案内

「東芝PCサポートページ」 <http://dynabook.com/assistpc/pg>

* 2015年7月現在の内容です。最新情報はホームページをご覧ください。

東芝サポートの窓口は、問い合わせたい内容や手段によって分かれています。次の表で相談内容や手段を選び、各問い合わせ先を示すマークを確認してから、以降のページで各問い合わせ先の説明をお読みください。

困ったときのご相談	手段					
	電話	メール	Web	訪問	対面	携帯用Web
使いかたや操作方法がわからない	あんしんサポート	PC オンライン	FAQ	訪問 サポート		
故障かどうか調べたい					PC工房	
夜間（18:00～24:00）に電話サポートを利用したい			サポート 予約			
時間にとらわれず好きな時間に相談したい（24時間）		PC オンライン	FAQ			
遠隔支援サービスを利用した電話サポートを受けたい	遠隔支援 サービス		サポート 予約			
インターネットで修理の申し込みをしたい			PC i-repair			PC i-repair
インターネットで修理状況を確認したい						
海外から修理を依頼したい						
使いかたやトラブルの解決方法を自分で調べたい			FAQ			
自宅に来てトラブルを解決してほしい				訪問 サポート		
本製品の調子が悪いので、本製品を預けて点検してほしい	点検		点検			
ウイルスに感染していないか確認・点検してほしい				訪問 サポート		PC工房
本製品の中からデータを救出してほしい	データ 復旧					
対面窓口で修理の相談をしたい（本製品持ち込み）						
短期間で修理してほしい						
本製品の設定を代わりにしてほしい	有料 サポート		有料 サポート	訪問 サポート		
マンツーマンでレッスンを受けたい						

2章

インターネット／困ったときは

困ったときのご相談	手段					
	電話	メール	Web	訪問	対面	携帯用Web
付属品の購入・サービスお申し込みのご相談						
お客様登録をしたい			Room 1048 Toshiba			
取扱説明書を購入したい			取扱説明書			
電源コードを購入したい						
ACアダプターを購入したい						
メモリを購入したい* ¹			購入窓口		PC工房	
バッテリーパック搭載モデルの場合、 バッテリーパックを購入したい* ²						
バッテリーパック内蔵モデルの場合、 バッテリーパックの交換を依頼したい* ²	バッテリーパック交換* ³					
保証期間を延長したい			有料サポート		PC工房	
使用済み本製品の回収・リサイクルのご相談						
不要になった本製品を廃棄したい（個人）	リサイクル個人		リサイクル個人			
不要になった本製品を廃棄したい（企業）	リサイクル企業					

* 1 モデルによっては、メモリの交換・増設そのものができなかつたり、メモリの交換・増設を依頼する必要がある場合があります。

参照▶ 「1章 2 各部の名称」の「お願い」

* 2 充電機能が低下した場合の対処方法は、モデルによって異なります。
ご使用のモデルについては、『****（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。


* 3 個人向けと企業向けでは、バッテリーパック交換の申し込み先が異なります。

■お電話でのスムーズな問い合わせのコツ


1. ご使用の製品の型番をご確認ください。型番は、製品に付属の保証書、画面に表示される「東芝PCシステム情報」、または本体背面／側面などの表示でご確認いただけます。

「東芝PCシステム情報」は次の手順で起動します。


●タブレットモードがONの場合

① スタートメニューの左上の  をタップ→② [すべてのアプリ] → [TOSHIBA] をタップ→③ [PCシステム情報] をタップします。

●タブレットモードがOFFの場合

① [スタート] ボタン () をタップ→② [すべてのアプリ] → [TOSHIBA] → [PCシステム情報] をタップします。

参照▶ タブレットモードの詳細「はじめに- 6 本書の記載について」

2. どのような症状が起きましたか？ エラーメッセージなどは表示されましたか？
3. その症状はどのような操作をしたあと、発生するようになりましたか？
4. 修理相談の場合は保証期間（保証書記載）をご確認ください。
5. 事前にお客様登録  (http://dynabook.com/assistpc/pg/room1048) をおすすめます。

■ 各問い合わせ先について *電話・FAX 番号のお間違いにご注意ください。

あんしん
サポート

東芝 PC あんしんサポート

[固定電話から] 0120-97-1048 (フリーダイヤル：通話料・電話サポート料無料)

[携帯電話から] 0570-66-6773 (ナビダイヤル：通話料お客様負担・電話サポート料無料)

国内仕様 PC・タブレットなどの使いかた・購入前相談・修理のご依頼受け付けです。

受付時間 使いかた相談：9:00-19:00 (年中無休)、修理相談：9:00-19:00 (12/31-1/3 除く)

購入後 1 週間以内の不具合・不足品相談：10:00-18:00 (12/31-1/3 除く)

海外からの電話・一部の IP 電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780 (通話料お客様負担・電話サポート料無料)

サポート
予約

電話サポート予約サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/cb.htm>

お客様がホームページからご予約された時間帯 (18:00~24:00) に、東芝 PC あんしんサポート担当者からお電話を差し上げて質問にお答えするサービスです。

遠隔支援
サービス

遠隔支援サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rm.htm>

電話サポートのスタッフがインターネット経由で、あなたの PC 画面を確認しながら操作のお手伝いやトラブルを解決するサービスです。

PC
i-repair

東芝 PC 集中修理センタ

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rc.htm>

個人・家庭で国内仕様本製品の修理相談サービスです。集配・梱包料金無料。

自己診断 Q&A 本当に故障かわからないとき

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rsc.htm>

インターネットからの修理のお申し込み

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rir.htm>

修理状況の確認 (携帯からアクセス可能)

<http://pcrepair.jp>



修理申込後も携帯サイトや電話申込でサービスのご利用が可能です。左記の QR コードで携帯サイトにアクセスできます。

* 携帯サイトからの修理のお申し込みは取り扱っておりません。

■ 企業のお客様の本製品（国内仕様）修理依頼は

東芝情報機器株式会社

<http://www.toshiba-tie.co.jp/support/repair/>

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は 03-5144-3816（有料）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

2章

インターネット／困ったときは



ILWサポートセンタ（海外保証・制限付）

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

ILW（International Limited Warranty）は、日本国内で購入された対象PCが、保証期間中に海外で故障した場合に、修理サービスを提供するものです。本サービスは、保証書にILWマークがついた製品が対象です。保証期間を過ぎた本製品については、有料修理サービスがございます。

ホームページからの修理申し込み：<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

電話番号：海外から 81-43-303-1062／国内から 043-303-1062（通話料お客様負担）

FAX：海外から 81-43-303-1068／国内から 043-303-1068（通話料お客様負担）

受付時間（日本時間）：10:00～19:00（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

※サービスの形態・制限事項・注意事項やILW対象地域の詳細などはホームページでご確認ください。

ILW対象地域

（中国は、現地修理サービス。その他地域は、日本への引き取り修理サービス）

カナダ、アメリカ、アイスランド、アイルランド、イギリス、イタリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、アラブ首長国連邦、韓国、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、中国、台湾、香港 ※準州などを除く

PC工房

東芝PC工房

お持ち込みでの直接診断や修理のご依頼、保証期間の延長のお申し込みはこちらへ。

また、ご予約いただき1日で修理を行うサービス「1Day・プレミアム・リペア・サービス」もこちらへ。

※修理は国内モデルのみ受け付けます。

※故障内容によっては、対応できない場合があります。

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pk.htm>

電話番号：03-3252-6274（通話料お客様負担）

電話受付：10:00～12:00 13:00～18:30（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-7-7 ソフト99ビル2F

営業時間：10:00～18:30

購入 窓口

電源コードやACアダプターなどの付属品の購入、取扱説明書の購入窓口

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ac.htm>

取扱 説明書

東芝PC本体に同梱している説明書（マニュアル）の一部を別売りしております。

<http://dynabook.com/assistpc/pg/mn.htm>

FAQ

「dynabook.com」で公開しているよくあるご質問と回答

<http://dynabook.com/assistpc/pg/faq.htm>PC
オンライン

Web（インターネット）を使ってご相談

<http://dynabook.com/assistpc/pg/web.htm>リサイクル
個人

PCリサイクルのご相談（個人）

●PCリサイクルマークがある場合

「PCリサイクルマーク」のある製品は、東芝での回収・再資源化のためのリサイクル料金が含まれています。

個人・家庭からの使用済み東芝パソコンを廃棄するときは、東芝dynabookリサイクルセンターへお申し込みください。なお、お申し込み時には排出されるパソコンの型番、製造番号をご確認いただき、申し込みをお願いいたします。

回収申し込み・お問い合わせ先：東芝dynabookリサイクルセンター<http://dynabook.com/assistpc/pg/reh.htm>

電話番号：043-303-0200

受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：043-303-0202

出荷時に添付されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品として併せて回収します。ただし、周辺機器（プリンターほか）、マニュアル、CD-ROM媒体は対象外です。

回収・再資源化対象機器

対象（東芝製）：ノートパソコン本体／デスクトップパソコン本体／ブラウン管（CRT）ディスプレイ／液晶ディスプレイ／ディスプレイ一体型パソコン

●PCリサイクルマークがない場合

「PCリサイクルマーク」のない製品は、PCリサイクル対象に該当しません。お客様がお住まいの各自治体の処理に従い、適切に廃棄をお願いします。なお、自治体によっては、廃棄費用をご負担いただく場合があります。

参照▶ PCリサイクルマーク「1章 1 各部の名称」リサイクル
企業

PCリサイクルのご相談（企業） 東芝IT機器リサイクルセンター

電話番号：045-440-6433

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：045-453-2472（24時間受付）

●事業系（企業・法人）の使用済みパソコン 回収・リサイクルのホームページ

<http://dynabook.com/assistpc/pg/reb.htm>

点検 あんしん点検（有料）の申し込み

<http://dynabook.com/assistpc/pg/at.htm>

PC全体の機能点検に加え、日常お手入れできないPC内部の清掃や、ウイルスに感染していないかの点検を行います。

有料サポート

有料のPC遠隔レッスンサービス/PC遠隔代行サービス/東芝PC延長保証サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pay.htm>

- ・PC遠隔レッスンサービス
個別指導で気軽にレッスン！年賀状、招待状作成のお手伝いをさせていただきます。
- ・PC遠隔代行サービス
周辺機器を買ったけど接続設定が面倒！信頼の技術力で、おうちにいながら遠隔設定いたします。
- ・東芝PC延長保証サービス

データ復旧

データ復旧サービスのご案内

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rdata.htm>

突然起きる内蔵フラッシュメモリ故障や、操作ミスによるデータ消失などのトラブルから大切なデータを復旧いたします。※お客様に著作権のないデータはサービス対象外となります。

データ復旧サービス

論理障害・軽度の物理障害の際、読み取り可能なフォルダーをDVD-RやUSBメモリなどにバックアップいたします。

※データ量が4.7GB以下の場合はDVD-Rに、4.7GB以上32GB以下の場合はUSBメモリに、32GB以上の場合はUSB接続型の外付けハードディスクドライブに格納いたします。

東芝情報機器株式会社

●個人のお客様

電話番号：03-3252-7081（通話料お客様負担）

受付時間：10:00～12:00、13:00～18:30（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

●企業のお客様

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は03-5144-3816（有料）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

訪問サポート

東芝PC訪問サポート（有料）*個人のお客様向け

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pcs.htm>

訪問スタッフがお客様先までおうかがいして、本製品の接続設定やアプリケーションの設定を行います。

日本PCサービス株式会社

電話番号：0120-1048-49/受付時間：9:00～21:00（年中無休）

キューアンドエー株式会社

電話番号：0120-577876/受付時間：10:00～19:00（年中無休）



バッテリーパックの交換（バッテリーパック内蔵モデルのみ）

充電機能が低下した場合は、バッテリーパックの交換を依頼してください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

- バッテリーパック交換（個人）
東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。
- バッテリーパック交換（企業）
営業担当にご連絡ください。

ILW制限事項・注意事項 (2015年7月現在)

最新版はホームページに記載しております。

<http://dynabook.com/assistpc/ilw/ilw3.htm>

■制限事項

- 対象地域により、サービス形態（日本への引き取り修理サービスまたは現地修理サービス）が異なります。
- 本製品は日本国内モデルであり、世界各地で販売されている海外モデルとは仕様に相違があるため、海外現地の東芝関連会社ではお取り扱いしていません。
- 対象地域はILW対象地域をご覧ください。記載地域以外は、ILW対象外です。対象地域は各地域の通関事情などにより、事前の告知なく変更となる場合があります。
- 現地では日本語での対応はできません。その現地の言語での対応となります。
- ILWは、本体の修理に限ります。オプション機器、周辺機器、消耗品（バッテリーパック等）、付属品（電源コード等）、リカバリメディア、サービス部品、操作説明書等の提供および販売は、ILW対象外です。
- ソフトウェアおよび技術サポートのご相談は受け付けておりません。ご相談の場合は、東芝PCあんしんサポート（海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「使い方・設定など技術的な相談窓口」へご連絡ください。通信費はお客様負担となります。
- プレインストールソフトウェアのリカバリサービスは保証期間内でも有料扱いとなります。リカバリサービスをお申込みの場合、本製品の往復輸送費とリカバリサービス代金はお客様負担となります。
- 海外でご使用になれない機能（TVの視聴・録画に関する機能、広域無線通信 [ワイヤレスWAN] 機能など）は、ILW対象外となります。
- お持ちの機種、修理部品、対応地域によっては、各地域の通関事情等により、修理完了までに時間がかかる場合があります。
また、法律により、輸出入が規制されている部品・役務等があります。規制に該当する場合は、ILW対象外となります。（例：TVチューナーは韓国で輸入が規制されています。2015年7月現在）
- 各地域の通関事情により、現地通関事務局から指定された書類を求められる場合があります。その場合は、お客様ご自身による対応が必要となります。
- 中国での現地修理サービスでは、修理本製品のピックアップサービスや出張サービスは行っておりません。お客様自身による現地修理会社へのお持ち込み、又は各輸送会社拠点へのお持ち込みとなります。
- お客様の過失により機器が故障した場合、火災・自然災害（落雷/水害等）により故障した場合等は、ILW対象外です。日本国内で有効な「保証書」に記載の無料修理規定に則り、有料修理となります。
- ILW対象外の修理については、地域によっては有料で、日本への引き取り修理サービスまたは現地修理サービスをご利用いただけます。有料修理の場合、本製品の往復輸送費等はお客様のご負担となります。
なお、有料修理は、保守部品（補修用性能部品）の保有期間内のILW対象機種とさせていただきます。
- ILW対象地域域外の場合、日本国内での修理となります。その場合は、お客様ご自身で輸入手続きの上、日本国内のご家族または知人を介して、東芝PCあんしんサポート（0120-97-1048 ※海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「修理に関するご相談窓口」へ修理依頼をお願いします。修理完了後の返却は、日本国内のみとさせていただきます。通信費はお客様負担となります。
- 記憶装置に記憶された内容は、故障や障害およびその他の原因にかかわらず、その損失損害については、いっさいその責任を負いません。修理をご依頼される際は、お客様ご自身で事前にデータのバックアップを行ってください。本製品をお預かりした時点で、データは全てバックアップされたものと判断させていただきます。記憶装置が故障した場合等、インストールされているソフトウェアやおお客様のデータは、消去されます。また、近年、盗難が多発しておりますので、本製品を輸送する際は、発送する前にハードウェアパスワード等により、セキュリティの強化をしてください。輸送の際の盗難等にもなう本製品内のデータ等に関する責任は、当社ではいっさい、負うことはできませんので、ご注意ください。

■注意事項

- ILWは当社製品の海外への輸出や持ち出しを保証するものではありません。海外へ輸出や持ち出しをする場合、「外国為替及び外国貿易法」や米国輸出規制を遵守する必要がありますので、ご注意願います。輸出国（お持ち込みになる国）によっては、米国輸出規制に従った輸出許可が必要です。このような場合は、お客様の責任に基づき、お客様自身で所定の手続きをしてください。手続きについては、税関等へお問い合わせください。
- 当社製品は、世界各国の規格を取得していないことから、お持ち込みのできない場合があります。製品の持ち出しおよびお持ち込みは、お客様の責任で行ってください。
- 地域によっては、本製品使用時、周辺環境（他電子機器から出される電波、お使いのコンセント電圧、インフラ設備等）の影響を受ける場合があります。
- 電源コードは国内専用です。海外で本製品を使用するときは、使用する国や地域の安全規格等に適合したケーブルを当該国でお買い求めになるなどして、お使いください。

本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

1 本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

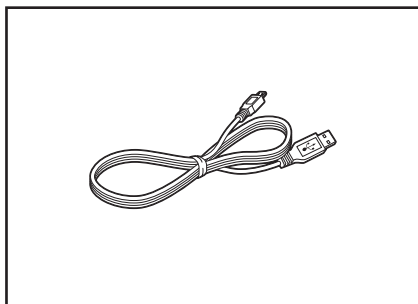
- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- 本製品の表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

2 本体ディスプレイについて

- 画面を強く押さないでください。
- 画面は指で操作してください。先のとがったものや硬いもの（つまみ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえつけたりしないでください。
- 画面に保護フィルムを貼った場合、タッチ操作が正しく認識されないことがあります。
- 画面上に物を置かないでください。

3 電源コードの取り扱いについて

- 電源コードは束ねずに、ほどこいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。電源コードは、購入されたモデルにより異なります。



4 ウイルスチェック・セキュリティ対策について

- 本製品に用意されている「ウイルスバスター」は90日間の使用期限があります。必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをご使用になる場合には、必ずウイルス定義ファイルの最新版を使用してください。
ウイルス感染を防止するには、常に最新のウイルス定義ファイルが必要です。
- すでにインストールしてあるウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトとは別のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールする場合は、すでにインストールしているものをすべてアンインストールしてから行ってください。

参照 ウイルスバスターのセキュリティ機能について「ウイルスバスター」のヘルプ

5 バッテリーについて

バッテリーを充電するにあたって

- バッテリーパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。本製品は5～35℃の室温で充電してください。

一般社団法人 電子情報技術産業協会の「PC用バッテリー関連Q&A」について
<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14>

バッテリーを使用するにあたって

バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの充電量に十分注意してください。
バッテリーを使いきってしまうと、スリープが効かなくなり、電源が切れて、作業中の内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。バッテリーを使い切る前に、電源コードとACアダプターをコンセントに接続して、バッテリーを充電してください。
なお、バッテリー駆動での使用時間は、本製品の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。

6 無線LANについて

無線LANを使用するにあたって

- 無線LANの無線アンテナは、障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。無線通信の範囲を最大限有効にするには、本や厚い紙の束などの障害物で本製品を覆わないようにしてください。

また、無線LANアクセスポイントと本製品との間を金属板などで遮へいしたり、無線アンテナの周囲を金属製のケースなどで覆わないようにしてください。

- Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。
- 無線LANは無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、次の説明を確認してください。

参照▶『活用編 付録 9 無線LAN/Bluetoothについて』

- 本製品の無線LANを使用できる国／地域については、「dynabook.com」を確認してください。

7 コンパスセンサーについて

- コンパスセンサー搭載モデルでは、電子コンパスが使用できます。
- 電車や自動車の車内、ビルの内部や周辺など使用環境によっては、方位を正確に検出できない場合があります。
コンパスセンサーをご使用の場合は、これらの場所を避けてください。
- タブレットの右側部分（画面を横にした状態の場合）には、磁石を近づけないでください。コンパスセンサーが正しく動作しない場合があります。

8 技術基準適合について

- 瞬時電圧低下について

この装置は、一般社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

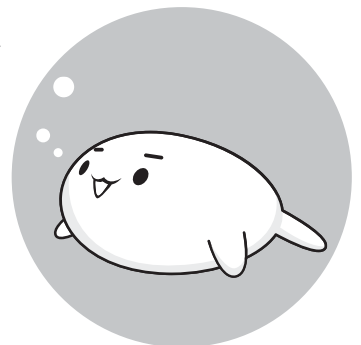
以下の項目のうち、ご購入のモデルの対象となる項目は、『活用編 付録 8 技術基準適合について』に記載されています。

- 電波障害自主規制について

MEMO



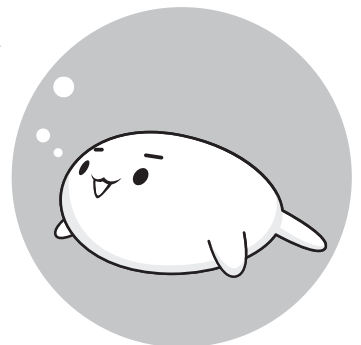
A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page. There are 15 rows of these lines. The first row is partially obscured by the header. The second and third rows are completely blank. The fourth row has a small fish icon at the start and end. The fifth and sixth rows are completely blank. The seventh row has a small fish icon at the start and end. The eighth and ninth rows are completely blank. The tenth row has a small fish icon at the start and end. The eleventh and twelfth rows are completely blank. The thirteenth row has a small fish icon at the start and end. The fourteenth and fifteenth rows are completely blank.



MEMO



A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page. There are 15 rows of these lines. The first row is at the top, and the last row is at the bottom. Each row is flanked by small fish icons at the left and right ends.



リカバリーチェックシート

本製品のリカバリーを行う際は、次の説明をお読みにになり、消去されるデータやアプリケーションをご確認のうえ、順番に作業を行ってください。

参照▶ 各項目の詳細 2章の **6**～**8**

1 リカバリーする前に、次の方法を実行してみる

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
<input checked="" type="checkbox"/>	周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす
<input checked="" type="checkbox"/>	「2章 4 困ったときは」『活用編 9章 1 トラブルを解消するまでの流れ』をご覧になり、ほかのトラブル解消方法を探す
<input checked="" type="checkbox"/>	「システムの復元」を実行して、本製品を以前の状態に復元する

2 リカバリーする前にすること

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① 準備するもの『取扱説明書』（本書） リカバリーチェックシート（本シート）
<input checked="" type="checkbox"/>	リカバリーメディア（*メディアからリカバリーする場合のみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	② 必要なデータのバックアップをとる ● [ドキュメント]、[ピクチャー]、デスクトップ上などのデータ ● インターネットの [お気に入り] のデータ ● メール送受信データ、メールアドレス ● その他、本製品を購入後に作成したデータ（フォルダーやファイル）
<input checked="" type="checkbox"/>	③ アプリケーションのセットアップ用のメディアを用意する ● 本製品を購入後にインストールしたアプリケーションのメディア ● Officeのパッケージ（プロダクトキーの情報）（* Office搭載モデルのみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	④ 各種設定を ウイルスチェックソフトの設定など
<input checked="" type="checkbox"/>	確認する インターネット、Windows サインイン時のアカウント名などの設定
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 無線通信機能がONであるかを確認する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ 周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす

3 リカバリーの実行と、その後にする事

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① リカバリーを行う（*リカバリー後は初期セットアップが必要）
<input checked="" type="checkbox"/>	② 周辺機器（プリンターなど）を取り付けて、設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	③ ウイルスチェックソフトの利用を開始する
<input checked="" type="checkbox"/>	④ インターネットを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ ウイルスチェックソフトのパターンファイルを更新する、Windows Updateを行う、東芝サービスステーションでソフトウェアのアップデートを行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ メールを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑦ アプリケーションのインストールや設定を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑧ バックアップをとったデータを復元する

東芝プレイスは、dynabookをお使いのみなさまのための活用応援サイトです。

dynabookを幅広く活用していただくために、インターネットを使ってできるさまざまなことを用途別に分類した各種プレイス(場所)をご用意しています。



Support Place

サポートプレイス

dynabookを使用していて困ったときに役立つ情報や、さまざまなサポートサービスを提供しています。



Accessory Place

アクセサリプレイス

dynabookのオプション製品や使いかたが広がる周辺機器などを紹介しています。



App Place

アッププレイス

ダウンロードしてすぐに使える、便利なアプリケーションソフトを紹介しています。



Book Place

ブックプレイス

話題の新刊やコミック、雑誌などの電子書籍を紹介しています。



Video Place

ビデオプレイス

話題の映画やドラマ、アニメなどのビデオを紹介しています。



Game Place

ゲームプレイス

気軽に楽しめるゲームを紹介しています。



Music Place

ミュージックプレイス

高音質で楽しめるさまざまなジャンルの音楽を紹介しています。



Shopping Place

ショッピングプレイス

ファッション、美容、グルメ、旅行など、生活に役立つサイトを紹介しています。

東芝プレイスはこちら

<http://toshibaplaces.jp>

- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
 - ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
 - ・落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。
- 東芝PC あんしんサポートにお問い合わせください。

N29/TGシリーズ、NZ29/TGシリーズ、S29/TGシリーズ



dynabook

取扱説明書

平成27年7月16日

第1版発行

GM9039735210

発行 株式会社 **東芝** パーソナル&クライアントソリューション社

〒135-8502 東京都江東区豊洲5-6-15 (NBF豊洲ガーデンフロント)

株式会社 **東芝** パーソナル&クライアントソリューション社

〒135-8502 東京都江東区豊洲5-6-15 (NBF豊洲ガーデンフロント)



この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

GM9039735210

Printed in China